

## モエレ沼公園「海の噴水」の完成について

故イサム・ノグチ氏の最後の作品であるモエレ沼公園で、平成 15 年 10 月から建設を進めてきた「海の噴水」が、このほど完成しました。

この噴水は、静かな海から荒れ狂う嵐の海へと変化していく海の姿をイメージし、「地球と海」、「海と人間」の関係を思い起こさせるデザインとなっています。

この完成により、昭和 57 年（1982 年）から 23 年間の長きにわたり造成を続けてきたモエレ沼公園事業が無事完了し、今年 7 月 1 日にグランドオープン式典を開催する運びとなりました。

本市では、このモエレ沼公園の完成を機に、より多くの方々にアートシティとしての札幌の魅力を知っていただきたく、グランドオープンの時期を軸として、官民協働によるさまざまな企画を予定しています。

### 1 「海の噴水」の概要

この「海の噴水」は、モエレ沼公園の中心に配置されているもので、同公園計画の核となる重要な施設です。大阪万博をはじめ水の彫刻を手がけてきたイサム・ノグチ氏が残した、宇宙・地球・自然などをイメージする水の彫刻です。

#### (1) 施設概要

- ・構造：鉄筋コンクリート造地下 2 階建て  
地上～搬出入口、噴水部（中央から、ボウル部、コーン部、ディッシュ部、エプロン部で構成）  
地下 1 階～トンネル（電気室）貯水槽  
地下 2 階～機械室（ポンプ室）貯水槽
- ・エプロン：直径 80.0m、面積 3,486 m<sup>2</sup>
- ・ディッシュ：直径 48.0m、面積 1,390 m<sup>2</sup>
- ・コーン：直径 21.0m、面積 210 m<sup>2</sup>
- ・ボウル：直径 14.0m、容積 413 立方メートル
- ・貯水槽：直径 23.0m、貯水量 1,800 t  
(コーン部は中国産御影石、ディッシュ部はサンゴと自然石の樹脂舗装仕上げ)
- ・総出力：1,000 k w
- ・噴水最高噴き上げ高さ：25m
- ・メインポンプ：180 k w × 2 台、110 k w × 2 台
- ・ノズル：高射ノズル（内径 165mm）× 1、造波ノズル（内径 200mm）× 4、  
フォッグノズル（内径 50mm）× 64、ポップアップアーチノズル × 16
- ・噴水照明：LED 照明灯 × 120 灯

#### (2) 噴水プログラム

フルプログラムで約 45 分間。最初にボウル部の中心底から高さ 25m の水が吹き上がり、それが徐々にボウル部にたまり、ある程度水がたまとだんだん波が起こり大きくなり、荒波が次々とコーン部を越えて、ディッシュ部にあふれていきます。そして、噴水池全体が穏やかな海へと変わり、そのまま水が消えてゆく。水が消えていく間には、霧の発生や水のアーチなど幻想的なシーンが移ろいゆく仕掛け。

運転回数、時間などについては気候・季節等により変わりますが、これらについては、モエレ沼公園ホームページ〔<http://www.sapporo-park.or.jp/moere/>〕や市コールセンター（222-4894）などで、皆さんにお知らせいたします。

(3) 噴水の運転開始日  
平成 17 年 7 月 1 日 (金)

(4) これまでの経過

平成 4 年	基本設計
平成 14 年 4 月	実施設計
平成 14 年 9 月	5 分の 1 モデルによる実験
平成 15 年 9 月	本体工事着手
平成 15 年 11 月	機械設備着手 電気設備着手
平成 17 年 3 月	全工事しゅん工
平成 17 年 6 月	運転開始

## 2 モエレ沼公園グランドオープン式典

平成 17 年 7 月 1 日 (金) 午後 5 時 30 分 ~ 午後 8 時 30 分

イサム・ノグチ財団による認証状授与式や市内の中学生によるジュニア JAZZ バンドコンサート、「海の噴水」通水式などが行われます。

なお、オープン関連行事として、5 月 28 日 (土) から行われる写真展「坂田栄一郎・天を射る」をはじめ、さまざまなイベントを予定しています。

### 【メディア向け内覧会】

報道機関の皆さまに対しては、6 月 1 日 (水) 午後 1 時 30 分から、「海の噴水」の内覧会を開催します。

参加をご希望の場合は、5 月 30 日 (月) までに、観光企画課 (211-2376) まで、社名、人数、カメラ等の有無をお知らせください。

問い合わせ先

「海の噴水」について

環境局みどりの推進部みどりの推進課

担当：今西・橘 (電話：211-2525)

内覧会およびグランドオープンについて

観光文化局観光部観光企画課

担当：藤井・浅村 (電話：211-2376)

## モエレ沼公園概要

- 1 種 別 総合公園（運動公園を兼ねる）
- 2 所 在 札幌市東区丘珠町および中沼町
- 3 事業期間 昭和 57 年度～平成 16 年度
- 4 全体面積 188.8ha（陸地部 112.3ha、水面部 76.5ha）
- 5 位置付け

札幌市中心部から北東約 10 キロメートルに位置し、札幌市には珍しい水景の要素を持つ面積 189ha の総合公園（運動公園を兼ねる）であり、また、環状グリーンベルト構想の北東部緑地ゾーンの拠点として位置付けられている。

## 6 特 徴

多様化する市民のレクリエーション・ニーズに的確に対応するばかりでなく、良好な都市景観を形成することを目的としている。

また、イサム・ノグチ氏のマスタープランへの参加により、公園全体が 1 つの彫刻作品として計画され、ガラスのピラミッドを中心とした公園施設は、市民の文化活動へ貢献するなど、市民のより良き体験と生活のために通年利用の公園となることを目的としている。

モエレ沼公園全体の意義（処理場跡地の活用と建設副産物の有効利用）とイサム・ノグチ氏のマスタープランに基づく公園造成が評価され、財団法人日本産業デザイン振興会より、2002 年度グッドデザイン大賞を受賞するなど、本市が国内外に誇ることができる公園となった。

## 7 主要施設

ガラスのピラミッド プレイマウンテン モエレビーチ サクラの森 テトラマウンド アクアプラザ カラマツの林 野外ステージ 野球場 テニスコート 陸上競技場 中央広場 東側駐車場 雪冷房施設 モエレ山 海の噴水

## イサム・ノグチ氏略歴

1904 年ロサンゼルス生まれ。英文学者で詩人の野口米次郎と、作家レオニー・ギルモアとの間に生まれ、少年期は日本で育つ。渡米した後、彫刻家を志し、アジア・ヨーロッパを旅して見聞を広めた。パリでは彫刻家ブランクーシの助手を務める。肖像彫刻、舞台美術を経て、環境彫刻やランドスケープ・デザインにまで幅広い活動を開始する。戦後は日本でも陶器作品や、和紙を使った「あかり」のデザインなどを行う。また、丹下健三、猪熊弦一郎、勅使原蒼風、北大路魯山人、岡本太郎など、当時の前衛芸術家たちと交流して刺激を与え合う。

1988 年 3 月に札幌を訪れ、モエレ沼公園のマスタープランを同年 11 月に完成させる。同年 12 月 30 日、ニューヨークにて永眠。